

取組による効果

- ・社員に多様な働き方に関するアンケートを実施し、在宅勤務やモバイル勤務についても要望度合いを確認し、導入した場合の効果や懸念事項をまとめることで、多様な勤務形態導入の基盤となる社内規定をまとめることができました。
- ・モバイル勤務実施を前提としてノートPC導入とVPN構築により、次第にモバイル勤務が定着化されました。
- ・フリーアドレス化により、プロジェクトメンバー同士が近くで効率的に仕事を進められるようになりました。また、新入社員には先輩社員がアドバイザーとして公私にわたり助言を行います。近隣の席で作業が可能となったため、コミュニケーションが良くなったと感じています。

従業員の意見

- ・モバイル勤務導入後、外出先から会社への移動時間が無くなったため、残業時間が減りました。
- ・在宅勤務やモバイル勤務、フリーアドレスにより、会社の作業スペース不足の問題の解消ができた。
- ・モバイル勤務や在宅勤務をすることで、会社や社員同士の連絡方法について懸念されていたが、メールやチャット、電話の利用により、社内で仕事するのと変わらないコミュニケーションができています。
- ・フレックスタイムを利用し、16時退社が可能なので、保育園の行事に参加しやすくなりました。
- ・固定した勤務場所、時間に縛られないので、自分のペースでメリハリをつけた仕事が可能となり、仕事の効率が上がっていると思います。



※東京都では、誰もが人生・生活をもっと大切にすべきであると考え、ワークライフバランスの「ワーク」と「ライフ」をあえて逆にして「ライフ・ワーク・バランス」を推進してまいります。ただし、このリーフレットにおいては、認定企業が使用する文言についてはワークライフバランスという文言をそのまま使用しています。



認定部門

多様な勤務形態導入部門

アルス株式会社



アルス株式会社

会社概要

会 社 名	アルス株式会社
代 表 者 名	代表取締役 児玉 民行
創 立 (創 業)	1988年
所 在 地	目黒区碑文谷5-25-10 ノアビル22 6F
TEL / FAX	03-5704-2323 / 03-5704-2344
従 業 員 数	46名(うち正社員45人)
U R L	http://www.arsweb.co.jp/



事業内容

コンピュータ・ソフトウェアの設計／開発



目的・理念

アルスでは社員が仕事と家庭を両立しやすいように、ワークライフバランス推進の取組みを全社的にを行っています。これまでの日本企業は、伝統的に社員を一律の働き方、同じものさしで評価して来ました。結婚、出産、育児、介護等、誰もが経験するライフイベントに直面し、今までと同じ働き方が出来ない状況が発生します。折角、やる気、能力があっても仕事の継続を断念せざるを得ない、という残念なケースがよくあります。

設立当初より、“家族の幸せなくして会社の幸せはない…”の信念のもと、平成24年度東京ワークライフバランス認定企業に認定され、こうしたアルスの思いが世の中にも知られることとなり、ワークライフバランスを重視した採用応募者も多くなってきました。安心して仕事も家庭も両立させていくことが、優秀な人材の定着化を実現し、会社としての組織力を維持、向上させています。



認定部門 多様な勤務形態導入部門

取組内容

モバイル勤務・在宅勤務による勤務場所の多様化

全社員を対象にモバイル勤務を導入し、1日の勤務時間の内、一部を社外で勤務できるよう設備や環境を整備しました。在宅勤務については、入社3年以上勤務しており、会社が認めた社員のみ利用できるという制度を設けました。



短時間勤務、フレックスタイムによる柔軟な勤務時間制度の導入

勤務時間の評価ではなく、アウトプットを上長が管理し評価するようにしているため、必ず会社で作業するコアタイム以外はフレックスタイムを導入しています。また、5時間勤務や6時間勤務などの短時間勤務制度も社員の希望によって許可しています。



ライフイベントに合わせた、雇用形態・勤務形態の変更

勤務形態を社員のライフイベントに合わせて選べるようにしており、短時間勤務や勤務日数の希望を聞いて設定を行っています。

